

セルフモニタリング報告書(令和5年度)

令和6年4月23日

施設名 苦小牧市交通安全センター
 指定管理者名 一般社団法人 苦小牧地区交通安全協会
 所管課名 市民生活部 市民生活課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	特に問題なく、適正に行われたものと考えている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。		A・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	主な利用は、免許人口等に影響されるが、現行の施設を十分生かし最大の効果を挙げることを業務遂行の指針としている。	A・Ⓑ・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	自主事業なし	A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	交通安全に関しては連携が重要で十分な取り組みがなされていると考えている。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケート調査の結果B以上の評価が多い。	A・Ⓑ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケート調査年1回実施	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	現状では、完全に対応できない部分が存在する。	A・B・Ⓒ・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	光熱水費節約、維持管理費節約に努めている。	A・Ⓑ・C・D・E

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	再委託～なし	A・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	収入なし	A・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	適宜研修等を実施している。	A・ B ・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	十分配慮している。	A ・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	最小の配置で効率化と適正管理に努めている。	適 ・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	交通安全に関する者は左記項目の取扱いに努めている。	適 ・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	法令に従い適正に行っている。	適 ・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適正に処理している。	適 ・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法令に従い適正に行っている。	適 ・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に行っている。	適 ・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適正に行っている。	適 ・不適
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	可能な限り市内で調達している。	A・ B ・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

（最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。）

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

施設自体は、昭和58年度の竣工でかなり老朽化しており、暖房器具、水回りの故障や、今日、平均的な公共施設に必要とされる、2階への昇降設備、身障者用トイレ、男子洋式トイレなどがなく、施設・設備面では著しく劣っているのが現状である。

なお、これらの改善は難しい状況であるが、対策として、事前に受講者に対し駐車場がないことの周知や、車いす利用者等の対応として、講習の区分により1階での対応や、2階への人海戦術による搬送を行うなど、利用者の利便性に心がけている。

また、指定管理の運用としては、清掃外部委託を止めるなど、経費削減に努力するとともに、利用者に対しては、雨天時など階段が非常に滑りやすく危険なため注意喚起する表示を掲示するなど、安全面に最大限配慮し、適正に管理を遂行している。
感染症対策としては、こまめな換気や消毒液の準備、マスク着用推奨の掲示などにより適切に対応している。